



おれんじ組(4歳児)春。わくわくどきどき子どもたちの様子や遊びを紹介します。

野菜の苗植えをしたよ

食にふれあい、食に興味を持ってもらいたいという思いも込めて、子どもたちと1年を通して野菜を育てていきます。今春は夏になす、秋にサツマイモの収穫を目標に植えました。子どもたちの小さな手を重ねて、「大きくなあれ！」の呪文付きです。

お世話をしながら、どんな花が咲くのか、どのように実になっていくのか一緒に観察していこうと思います。



お手伝い活動『豆ごはん』の豆剥き

給食の豆ごはんのえんどう豆を鞘から取り出しました。「出すの難しい…」と苦戦したり「赤ちゃんの豆みつけた」と喜ぶ姿がありました。給食で出てくると「私が(僕が)むいたお豆や」「苦手やけど食べてみる」と自分や友だちが手伝ったから食べてみようとする気持ちを感じました。最近では給食を食べながら子ども同士で「ケチャップは何の野菜でできているのでしょうか?」「小さいけれど、これは人参かな?」など給食に何の食材が入っているのか話をしたり、クイズを出し合っています。菜園活動や、お手伝い活動の中で芽生える子どもたちの興味や関心、疑問を大切に、子どもたちの食べることの楽しさや、楽しさに繋がってほしいと思っています。

ぜひ、お家でもご飯の簡単なお手伝いをお願いしてみたり、食材クイズを出したりして、食事の時間を一緒に楽しんでみてください。



お弁当おいしかったよ



4月末から「5月になったらお弁当の日がある」ととても楽しみにしていた子どもたちです。公園に着いてからもお父さん、お母さんが用意してくれたお弁当を早く見たい、早く食べたくてたまりません。お昼の時間になり、お弁当を開けると「うわあ、美味しそう!」「私のお弁当見て!」と喜びの声があがり、子どもたちの嬉しい気持ちが伝わってきました。お忙しい中、お弁当の用意をありがとうございました。

